

章	6	構想の推進のために
大項目	04	広域的な都市課題への対応
施策	01	広域的な都市課題への対応

**目的**

大都市問題であるホームレス問題の解決のために、『新宿区ホームレスの自立支援等に関する推進計画』に基づき、区全体で取り組んでいくための総合的な対策を整備していく中で、区とNPOや区民等との協力・連携、都及び各区との連携による事業の推進によりホームレスの自立を支援します。

**対象・手段**

対象は、区内のホームレス、区民・事業者・NPO等民間団体です。  
 手段は、 宿泊所等入所者相談援助事業、 NPO・住民との連携、 啓発事業、 拠点相談事業です。

**施策の方向**

『宿泊所等入所者相談援助事業』では、再びホームレス生活へ戻らないよう相談、援助指導を支援します。『NPO・住民との連携』では、区と区民・団体等が連携して、自立支援のネットワークづくり、NPOや活動団体によるシンポジウム等開催を支援し情報の共有化を図ります。『啓発事業』では、ホームレスの実情や自立支援策を説明するパンフレットを作成し区民等に理解と協力を得られるよう啓発活動を行います。『拠点相談事業』では、継続的にホームレスの相談に応じ、自立に関する情報や福祉施策に関する情報を提供することで早期の自立を支援します。

**基本計画(平成10～19年度)の目標達成状況**

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
新宿区区民意識調査の区政への要望で、ホームレスに関する施策への要望を減らす。	ホームレスの自立が進めば、ホームレスに関する要望が減り、前年度を下回れば100%とする。	100%	100%	ホームレスは、平成16年8月(1,102名)から平成20年1月(285名)と大幅に減少しています。100%達成

指標名の定義： 指標名、基準値のとおり

**成果指標**

指標名		定義		目標水準	
新宿区区民意識調査の区政への要望で、ホームレスに関する施策への要望を減らす。		ホームレスの自立が進めば、ホームレスに関する要望が減り、前年度を下回れば100%。		( 毎年度 )	年度に
				( 100% )	の水準達成
				( )	年度に
				( )	の水準達成
				( )	年度に
				( )	の水準達成
施策の達成状況					
	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考
施策成果指標	目標値1	%	100.00	100.00	100.00
	実績1	%	100.00	100.00	100.00
	目標達成率1 = /	%	100.00	100.00	100.00
	目標値2				
	実績2				
	目標達成率2 = /				
	目標値3				
	実績3				
	目標達成率3 = /				

所管部	福祉部
-----	-----

**主な取組み**

- ・ホームレスの自立支援等に関するシンポジウム等への支援。(1回)
- ・ホームレスの自立を支援する団体等の連絡会議を開催。(12回)
- ・『宿泊所等入所者相談援助事業』、『拠点相談事業』を実施。
- ・都区共同事業『地域生活移行支援・自立支援システム事業』を実施。

**課題**

区民・NPOとの連携、都・区の共同事業、区の単独施策などホームレスの自立支援のための仕組みが整えられてきています。今後は、より困難な自立への阻害要因を抱えるホームレスが再び路上生活に戻ることのないように、阻害要因を一つ解決するために、自立支援の仕組みを最大限活用しながら継続的に自立を支援することが課題です。

**評価**

総合評価	
<p>総合評価を『B』とした理由は、ホームレスの自立支援に対する区の独自の取り組みや都・他区との協力・連携、NPO・区民等に対し、ホームレス問題の啓発活動を行った事でホームレス問題に対する施策の推進や理解が進んだ事により、ホームレスの大幅な減少と自立支援に成果を上げたことです。</p> <p><b>サービスの負担と担い手</b> この施策におけるサービスは、国及び東京都からの補助金で賄われています。ホームレスの自立支援は、広域的な都市問題であるため行政が担うものです。</p> <p><b>適切な目標設定</b> NPO等地域の社会資源と協力・連携してホームレスの自立を支援していくことは、『新宿区区民意識調査の区政への要望』でホームレスに関する施策の要望を減らす事につながるため適切です。</p> <p><b>効果的・効率的な視点</b> この施策は、NPO等へ業務への協力・連携を求め、また、業務委託し、実施することでNPO等が持つ機動性と柔軟性が活かされ、ホームレスの自立支援に高い効率性が発揮され費用対効果から見て効果的に行われています。</p> <p><b>目標の達成度</b> 広域的な都市問題であるホームレスの自立支援について、地域の住民や豊かな経験と専門性を持った民間団体、東京都と他区との連携を深めていくことで、新宿区のホームレス数は、平成16年8月の1,102名から平成20年1月の285名へと減少し目標を達成しました。</p>	B

**今後の取組み・改革の方針**

ホームレスを再び路上生活に戻さないためには、都区共同事業や区の施策などの事業利用者を増やすことが重要です。そのためには、区民、NPO・都、他区との連携を基本に事業の体系化・総合化を図り、効率性を一層高めた継続的な取り組みが必要と判断し20年度から新宿区総合計画の基本施策「 - 1 - セーフティネットの整備・充実」に引継ぎ取り組んでいきます。

**施策を構成する計画事業**

	総合評価	頁	総合評価	頁
ホームレス対策	B	288		